

おち町

議会だより OCHI TOWNS

No. 103

2013年2月1日発行
高知県越知町議会

自分たちが作ったお米で
ついたお餅はおいしいよ

12月定例会

2P 国の交付金で町道6路線を整備

一般会計補正1億4761万円

5P バス運行の課題を研究 (特別委員会の設置)

7P 3区町営住宅、福祉政策などを聞く (一般質問)

12P 定住対策とバス運行の課題を克服 (先進地視察研修)

町道6路線を整備

平成24年12月定例会

一般会計1億4761万円を補正

12月定例会は、14日から18日までの会期で開き、平成24年度一般会計および特別会計補正予算、条例の制定および一部改正など8件を全会一致で可決し、固定資産評価審査委員の選任など人事案件4件を同意しました。

また、武智龍議員が提案した地域交通調査特別委員会設置を全会一致で可決しました。今後、選任された委員6人で町内のバス運行等の課題を調査します。【5面に関連記事】

一般質問【7面から】は4人が登壇し、3区町営住宅建設や福祉問題について執行部の考えをただしました。

12月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	1億4761万円	51億4384万円
特別会計	国民健康保険	7768万円
	介護保険	△ 0.6万円
	蚕糸資料館	9万円
		33万円

国の交付金で

一般会計補正予算の主な内容

総務費 210万円

防犯灯設置補助金、集落整備事業費補助金、住民税振興支援システム導入委託料など。

民生費 1654万円

ひとり親家庭医療費扶助、補そう具給付費扶助、介護給付費扶助など。

農林水産業費 △111万円

こうち農業確立支援補助金1223万円の減額。有害鳥獣被害対策、鎌井田用水路改修工事、緊急間伐支援費補助金、林道整備補助金など。

商工費 64万円

黒瀬ログハウス庇取り付け工事、一人乗りカヌー(5艇)など。

土木費 8500万円

町道鎌井田桑藪線・本村薬師堂線・筏津線・文徳五味線・野老山本線・八ヶ窪線の6路線の修繕系交付金工事、今成排水路改修工事、町道深瀬線改良工事、町道山室線舗装工事、がけくずれ住家防災対策工事など。

教育費 525万円

小学5年生スキー教室補助金、町民総合運動場体育館耐震診断委託料など。

災害復旧費 1757万円

道路災害復旧工事請負費など。

2013年の無病息災を祈る(とんど祭、1/16)

専決処分

遅れた報告で謝罪

工事契約変更の報告

越知中屋内運動場・プール改築工事

工事車両が使う補助グラウンドの地盤が軟弱なため、地盤の強度を高める工事を追加した。

(変更前) 5億9829万円
(変更後) 6億325万8600円

山橋 10月15日に専決しているが、11月26日の臨時会で報告しなかったのはなぜか。

高橋教育次長 臨時会に提出すべきであったが、書類の作成を忘れており、間に合わなかった。

山中教育長 11月の臨時会で報告すべきであったが、こちらの落ち度であり、お詫びする。

今後このようなことがないように注意する。

片岡(清) 町内の業者でやることはできなかったか。

高橋教育次長 改築工事に関連しており、分離発注はできない。

町内業者を使うことは元請け業者の判断になる。

●専決処分

議会が議決した工事請負契約は、500万円以内の増減は町長が専決処分できる。ただし、議会に報告しなければならぬ。

国庫補助金の1%を事務費に

岡林(学) 学校管理費の消耗品費263万円の内容は。

高橋教育次長 越知中屋内運動場・プール改築工事に係る国庫補助金の1%を事務費に計上する。



2学期までの完成を目指して工事が進む

今日の表紙



小学校5年生が遊行寺の田んぼで作ったお米で1月13日に恒例の餅つきをし、みんなでおいしくいただきました。

災害復旧に

1670万円

JACコスモスへの補助金取りやめ

武智 公共土木災害復旧工事3件の場所は。

小田産業建設課長 大元舟戸、深瀬の町道3件である。

岡林(学) こうち農業

確立支援事業補助金1223万円の減額理由は。

小田産業建設課長 6月議会で、JACコスモスのシヨウガ生産部に機械類を一新する補助金を計上していたが、JACからの申請内容が県の補助基準に合わないため、取りやめる。

横島、野老山集会所新築に備品購入補助

岡林(学) 集落整備事業補助金156万円の内容は。

大原総務課長 横島本村と野老山本村集会所の建築を予定しており、カーテン、テーブル、いす、テレビなどの備品購入の補助をする。

条例改正 町が管理する集会所



太陽光発電を備えた黒瀬集会所

◆野老山中村集会所
◆黒瀬集会所
厚生労働省関連の補助
によって介護予防などを
目的に建設しており、目
的外使用や譲渡などが国
の法律で制限されるた
め、地区管理でなく、町
が管理する。

(賛成・全員)

◆条例 新型インフル
エンザの対策
病原性が高い新型イン
フルエンザ等が発生した
ときに、その脅威から国民
の生命と健康を守り、国民
の生活や経済に及ぼす影
響が最小となることを目
的に国の法律が定められ
た。

それに伴い、町において
も迅速に適正な対応がで
きるよう、町職員による対

こんなことが決まったぜよ

策本部を設置し、情報交換
や連絡調整を行う。

具体的な行動計画は、県
の計画に基づき策定する。
(賛成・全員)

町道の認定

◆町道上流屋敷線

(五味上流屋敷)

延長 68・0メートル
幅員 3・0メートル
(賛成・全員)

人事

固定資産評価審査 委員の選任

西森 登志喜 氏(五味)
竹内 鹿雄 氏(越知甲)
山中 博 氏(日ノ浦)
(同意・全員)

教育委員の任命

井上 美三 氏(越知甲)
(同意・全員)

誰もが自由に乗れるバス運行を

特別委員会を設置

提出者 武智龍議員

議会開催の地区別懇談
会で、スクールバスや患
者バスへ誰もが自由に乗
りたいとの声が多くあり、その実現に向けて、バ
ス運行の現状と課題、将
来像等を調査・研究する。

委員は6人で、議会閉
会中も調査する。

(賛成・全員)

【12、13面に関連記事】

地域交通調査特別委員会

【◎委員長、○副委員長】

◎武智龍、○市原静子

高橋丈一、斎藤政広

岡林学、片岡清則



スクールバスへ一般の混乗は課題も多い

意見書

4件を全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

アスベスト被害の補償充実を根絶と基金創設

提出者 西川晃議員

「石綿による健康被害の救済に関する法律」を改正して、指定疾病を拡充し、検査・医療体制の確立を急げ。また、被災者の家族等の健康管理体制と補償を充実すること。

公共・民間建築物のアスベスト除去を進めるための助成制度や融資制度等の措置を講じること。

(賛成・全員)

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣、法務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、防衛施設庁長官

提出者 高橋丈一議員

トンネルじん肺根絶訴訟では、国と原告・弁護団との間で「トンネルじん肺防止対策に関する合意書」による和解が成立し、トンネル建設工事事業者による対策を講じてきたが、十分な成果を上げていない。

抜本的対策を講じ、被害者の早期救済を図るため「トンネルじん肺基金」の創設を求める。

(賛成・全員)

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、総務大臣、法務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、内閣官房長官、防衛施設庁長官

介護職員の処遇改善

提出者 市原静子議員

介護報酬の加算制度は平成27年3月31日までとされ、以降の継続は不透明な状況である。

安全・安心の介護実現と介護職員の確保を図るため、介護職員処遇改善加算を継続し、対象職員を介護職員以外の職種にも拡大すること。

(賛成・全員)

【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣、文部科学大臣

医師・看護師等の労働環境の改善

提出者 斎藤政広議員

地域住民が安心して医療・介護を受けられるために、看護師などの夜勤交代制労働者の健康を守り、労働環境を改善することと、医師・看護師、介護職員などを大幅に増員すること。

(賛成・全員)

【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、総務大臣、文部科学大臣



安全で安心できる介護の取り組み

臨時会

11月26日

◆一般会計の補正(専決)

衆議院議員総選挙に伴い906万円を追加し、総額を49億9623万円とする。

(賛成・全員)

◆期末手当の減額

職員、特別職、議員に支給される12月の期末手当を減額する。

給料、報酬の1・375カ月分を0・05カ月減らし、1・325カ月とする。

(賛成・全員)

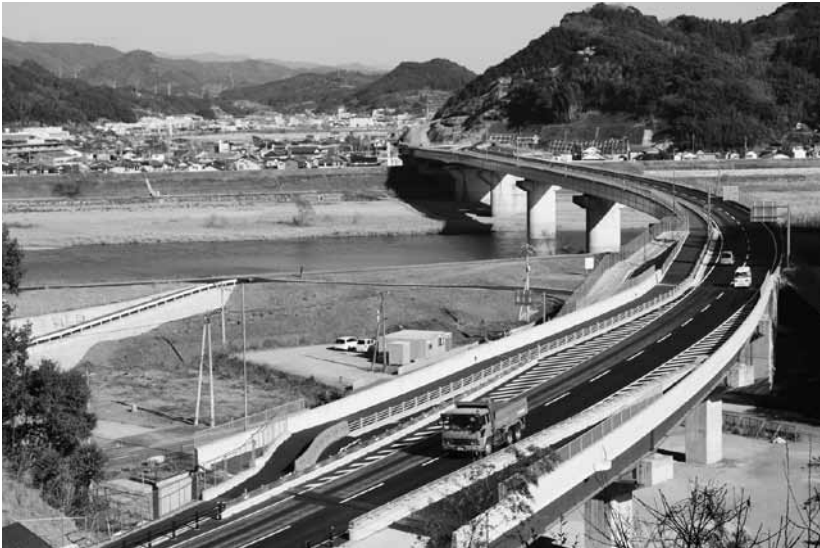


高藤政広 議員

高知西バイパス

波川交差点の混雑解消を

開通時期は未定／産業建設課長



全線開通が待たれる高知西バイパス（昨年12月に開通した鎌田―天神間）

問 国道33号「高知西バイパス」の、いの町天神から鎌田までは開通するが、枝川から天神までの開通はいつか。

小田産業建設課長 枝川から天神までの2・9キロ区間は平成27年度開通予定と聞いている。鎌田から波川の1・5キロ区間は、用地は解決しているが開通時期は示されていない。今まで以上に関係町村とともに力強く要望していく。

認知症

知識不足で困っている

地域包括支援センターに相談を ／住民課長

問 認知症は本人も家族も知識不足で、具体的な接し方や家族の心構えなど、対応の仕方が分からずに困っている。予防方法や最新治療の情報をあらゆる機会を利用して周知してもらいたい。

住民課長 本年度からは、地域包括支援センターと、あつたかふれあいセンターが中心となり、町内5カ所の集会所で講習会を開き、50人が参加している。今後も積極的に知識の普及に努めたい。困ったときは役場内の地域包括支援センターに相談してもらいたい。

問 眠っている基金を使おう考えは地域福祉振興基金は利子を活用して事業をするものだが、現在は使わずに長期間眠ったままの状態だ。条例を改正して元金を使う考えはないか。

吉岡町長 理解を得て使いたい。条例を改正して使えるようにしたい。基金は約1億9000万円で、在宅福祉の向上など、住民の理解を得て、基本的に福祉関係に使うことを検討したい。

岡林住民課長 予防方法は体の活動性（運動）を保つことと社会性を保つことと言われている。相談は20年度から年2回、専門医療機関の医師に依頼して認知症の個別相談会を実施し、5年間で35人の相談があった。

岡林住民課長 単に財源不足に充てることは考えていない。交通手段のない地域から拠点施設への送迎なども考えている。

拠点施設への送迎も



市原静子 議員

ジェネリック医薬品

医療費抑制の効果は

23カ月で675万円減／住民課長

問 ジェネリック医薬品の使用が全国的に広がっている。

医療費・保険料の抑制につながると思うが、効果は出ているのか。

岡林住民課長

県内では国保連合会が、平成22年8月から40歳以上の対象者に、ジェネリック医薬品に変更すれば医療費が安くなることを通知して

勧めている。

全国的にも早い開始であり、本町も一番早く取り組んでいる。11月には被保険者1518人のうち、対象の77人に通知している。

平成22年4月診療分から本年7月までの23カ月間で約675万円の医療費削減となっており、保険料の抑制にもつながると考えている。

ジェネリック医薬品 (後発医薬品)

開発費などを要した高額
の医薬品(先発医薬品)の特
許が切れた医薬品で、同等
の成分や有効性があり、先
発医薬品より価格が安い。

防災対策

被災者支援システムの導入

身の丈に合うもので備える／総務課長

問 災害時に役立つ「被災者支援システム」の導入を検討することだったが、どうなっているか。

また、防災会議への女性の登用はしたのか。

大原総務課長

災害時には被災者台帳が必要だが、本町のような小規模な自治体では導入しなくても対応できる。

身の丈に合った独自の

もので備えたいと考えている。

防災会議は本年3月の開催から女性2人を登用した。できるだけ女性の意見を反映するよう配慮する。

被災者支援システム

阪神・淡路大震災で被害を受けた西宮市が開発したシステム。

住民基本台帳を基に被災者台帳を作り、家屋の被害や避難先、犠牲者の有無、口座番号、り災証明書の発行などを一括して管理し、氏名などの情報がすぐに分かり、スムーズな業務が行える。

介護疲れの支援

問 高齢者などを自宅に介護している人たちは、1日24時間、365日介護しなければならないが、介護疲れで、虐待や介護放棄などが増えている。

その人たちの休息や急用などのために、どのような支援をしているか。

短期入所で負担軽減

岡林住民課長

介護者の休暇・休息のために短期間介護施設に預けるショートステイや短期入所療養介護がある。

町内には「五葉荘」に10床、「輝」に5床で、高吾北広域組合管内の「あがわ荘」「もみじ荘」「春日荘」でも短期入所ができる。その他、県内市町村に複数ある。

また、緊急時のために県内の特別養護老人ホーム12施設にショートステイ15床を確保している。



ジェネリック医薬品で医療費の削減

学校給食センター

今の給食室を改修できないか

衛生管理基準が変わり難しい／教育長



片岡清則 議員

一般質問

問 給食センターの道ができたが、いつ、どこに建てるのか。
また、今の給食室を改修することはできないか。

山中教育長 小学校の体育館と運動場の間に計画しており、財源が確保できれば平成25年度に設計して、26年度に工事をし



みんなで食べるおいしい給食

たい。
○157の発生で衛生管理の基準が変わり、食材の受け入れ、洗浄、調理場、搬出などの区域を分けなければいけないため、今の施設では難しい。
できるだけ早く整備して、衛生管理上問題ないようにしたい。

再質問 児童、生徒数が減っているが、調理員は今ままでどおり働けるのか。

山中教育長 調理員は、中学校が3人、小学校に5人いる。
本年度の生徒児童数は368人、29年度が30

1人、教員が約50人で、350から400食くらいになるが、幼稚園も加えて、今の8人体制で続けたい。
保育園は法律で施設内に調理場が必要なため、加えることはできない。

3区町営住宅

町民の意見を聞け

今はその考えはない／町長

問 住宅計画は議会へ説明したというが、認めたものではない。
アパート経営者からは官が民を圧迫するといった陳情もきているが、町民の意見は聞かないのか。
また、人口は減り、アパートも空き部屋がある中で、50戸の計画は見直せないか。

吉岡町長 議会には土地を買う時から説明をし、県を含めた検討会もし

て、順番に提案しており、この時点で町民の集会をやる考えはない。
人口減少を止めるには、若者や高齢者が安心して住める住宅を建てることしかないと思っており、民間経営者には理解してもらいたい。
できる限り町外から人を呼び寄せる政策を取りたい。

小田企画課長 50戸は変更できない。

職員駐車場の借地料
問 町が職員駐車場に借りている土地の借地料は。

1カ月7万円

大原総務課長 東町集会所の裏（小学校東門前）の土地で、月7万円で借りており、25台くらい置いている。



小学校東門前の職員駐車場



武智龍 議員

3区町営住宅計画

個人建築補助が効果大

家を建てるか疑問だ／町長

問 2020年に人口6000人を目標に計画している林屋敷団地の基本計画（1階駐車場、3、6階建て、3棟）が示された。

建設に反対ではないが、人口は年に約110人減っており、8億円以上も投入する割に、計画入居者70人では、全員町外から入っても目的達成

は程遠い。

定住の可能性も低いので計画は見直すべきだ。

吉岡町長 家族用の20戸は2人で計算しているの

で、子どもがいれば70人以上になる。

町外・町内の割合の線引きをすることは難しいが、できる限り移住者を増やしたい。

再質問 工事費のほとんどが町外に流れる恐れがあり、維持管理費や耐用年数が過ぎたときの町民負担が大きい。

団地には可能なだけの木造住宅を建てて、ほかには個人の住宅建築に250〜300万円の補助金を出せば、人口増加や交

基本計画が示された3区町営住宅の模型



農業後継者

青年就農者の応募

14人から問い合わせ

／産業建設課長

問 農業後継者の確保は重要な課題だが、年次計画や目標人数は定めているのか。

また、平成24年度の青年就農交付金制度の応募状況は。

小田産業建設課長 後継者は本来経営者が育てるのが一番だが、今は制度を活用して、てこ入れしている。

青年就農交付金制度は23年4月から14人の問い合わせがあったが、対象者は2人だった。

再質問 人・農地プラン策定の目標と現状は。

小田産業建設課長 集落ごとに、5年後、10年後のあるべき姿を作成する

制度だが、新規就農希望者が居る2集落では、1月と4月に策定する見込みである。今後旧小学校区単位で1カ所は策定したい。

に家を建てるか疑問だ。町内でこの仕事ができる業者は限られており、

落札業者には、町内の業者をできるだけ使ってもらうよう話をする。

チラシやホームページの充実を

問 人口対策など継続的な施策は、いつでも誰でも見えるようにしておくべきだ。

チラシやパンフレットの作成、ホームページの充実など、事業の「見える化」を図れ。

充実するよう努力

小田企画課長 各種の子育て支援などをやっているが、一覽で分かるチラシやパンフレットなどは作っていない。

ホームページは各課で管理しているが、今後充実するよう努力する。

チラシは検討する

吉岡町長 一覽できるチラシなどを作るよう検討する。

吉岡町長 250万円の補助金を出しても、実際

あれはどうなっちゅうが？

太陽光発電を増やせ

(平成23年6月議会)

高橋丈一議員 自然エネルギーが見直されており、おち町と町民会館には太陽光発電を設置したが、増やす予定はないか。

中学校体育館に設置したい

吉岡町長 保育園と幼稚園に設置ができると聞いている。また、中学校体育館の耐震改修工事に合わせて、屋上に設置したい。

処理状況

中学校体育館に設置

本年2学期までに完成を予定している中学校体育館・プールの屋根に設置することになっている。
幼稚園と保育園への計画は示されていない。



地球温暖化防止対策で個人住宅にも増えている



町民会館に設置している太陽光発電

広域議会

定例会(11月28日)

〈組合長の諸般報告〉

消防庁舎新築工事 県から嚴重注意

消防庁舎新築工事で出土した産業廃棄物の処理問題は、高知県から嚴重注意の通知が届いた。

職員が安易な判断で不法投棄を行ったことは廃棄物の投棄禁止の違反であり、工事中に出た燃え殻も現場外へ搬出する前に知事への報告を怠ったことは産業廃棄物の適正な処理に関する注意が不十分であるとの内容で、深く反省している。
新庁舎は2月上旬に完成し、業務移転後に今の庁舎の取り壊しと駐車場を整備して3月末に完成させる。

衛生センターの大規模修繕 平成25年度から27年度に工事を実施する。

平成24年度補正予算

区分	補正額	総額	
一般会計	86万円	13億4532万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	△ 277万円	12億6791万円
	養護老人ホーム	64万円	1億1413万円
	障害者支援施設	506万円	1億7365万円
	ふるさと市町村圏	△ 94万円	3億2350万円

課題を克服



神石高原町では空き家は資源と位置付けている

平成32年に人口6000人を目指す町づくりや住民懇談会で要望のあった患者バスなどへの自由な乗り降りの課題を研究するため、先進的な取り組みを行っている広島県神石高原町（じんせきこうげんちょう）と鳥取県伯耆町（ほうきちよう）を10月31日、11月1日に議員9人（欠席3人）で視察訪問しました。

広島県神石高原町

（人口1万662人、面積381・8平方キロメートル）

充実した定住支援

宅地分譲

福山市から1時間以内で、田舎暮らしを望む人や子育て世代のために72区画の宅地を整備（上下水道完備）し、1区画100坪から300坪を坪2万円前後で販売。15歳未満の子どもを持つ世帯の購入は10%割引など。

住宅建築支援

新築住宅の固定資産税の2分の1を5年間助成。町内建築業者の施工や町内製材業者の製材に最高100万円を助成。町有林木材を無償提供など。

空き家対策

空き家は資源と位置付けて、移住者を呼び込む。町ホームページの「空き家情報バンク」に「売りたい・貸したい」物件を登録し、現在44軒中16軒が成約している。

空き家を借りたり購入して改修・開業する場合は上限100万円を助成。空き家の所有者や定住受け入れ自治会に3万円の奨励金。

子育て支援

小学校入学祝金は第1子10万円、第2子20万円、第3子30万円。

保育所は午前7時半から午後6時半まで保育。第3子以降の保育園料は半額。

農業支援

10年以上就農する新規就農者に初年度月額10万円、2年目7万円を支給。

農地取得費の一部を補助し、農業施設や機械購入、農産物栽培、畜産等にも助成。

その他

結婚祝い金（商品券）3万円。結婚仲人さんに10万円の商品券。店舗改修費助成最大50万円。

地元野菜を使った道の駅レストランは来客が途切れない盛況。全戸にケーブルテレビ・光回線など。

バス運行の改善策

交通運行に係る経費の軽減や「誰もが町内を移動できる交通手段」を掲げて、平成21年度から取り組んでいる。

乗り合いタクシー、町営バス、福祉タクシーなどの運行を見直し、スクールバスは空き時間を活用して一般乗客の混乗（有料）も行っている。

人口減少とバス運行の

先進地の取り組みを視察 (広島県神石高原町・鳥取県伯耆町)

鳥取県伯耆町

(人口1万1574人、面積139.5平方キロメートル)

バス運行の一括管理

平成19年4月から、複数の縦割りのバス事業を見直し、横断的に一括管理して運行している。

行政・バス利用者・民間会社などで「地域交通会議」を組織し、利用者の意見収集や課題を把握し、より良い公共交通サービスに努めている。

スクールバス

7校で11台を運行し、通学時の一般混乗も可能で、空き時間帯は町営バスとして活用している。利用者は年間14万人で、町内中学生以下は無料。一般は上限200円。

デマンドバス

交通弱者の移動手段として、一部予約制で運行し、利用者は年間3万人。今後は、道路が狭い地域への乗り入れも考え、道路の拡幅やバスの小型化を計画している。

予約なしに乗れる定期バスと予約がなければ走らないバスがあり、バス運行の一括管理で、実態に沿った無駄のない運行ができています。

料金は上限200円で未就学児は無料。

スクールバス、デマンドバスの平成23年度の運行委託料は7497万円だが、1台当たり568万3000円の交付税措置(赤字分の8割)があり、町負担はおよそ1200万円である。

配車センター

タクシー会社に委託した配車センターが一括して予約受付(フリーダイヤル)や配車を行うため、

利用者が予約時にタクシーかバスかの選択ができるようになっていて、バス停をきめ細かく設けて、徒歩を少なくし、国道を走る路線バス(年間1千万円補助)への乗り継ぎも配慮している。



バスの二元化は町民のため

意見・提言

一人でも多くを呼び込む気迫

神石高原町の定住対策は、画期的・積極的で多種多様な支援制度や詳細な情報発信を行うなど、外部から一人でも多くの人を呼び込むといった気迫がうかがえた。急激に進む過疎・少子高齢化の課題は本町も同様であり、今後真剣に考えなければならぬ。

バラバラの運営は町民のためでない

2町とも「バラバラの運営では町民のためにならない」という観点から「交通会議」などで、徹底した調査・協議により、地域住民の移動手段の選択肢を広げ、利便性を向上させている。

大型バスから軽自動車までの多様な公共交通体系を横断的に一括管理して、経費を抑え、効率的で理にかなったバス事業である。

課題解決の参考に

本町は山あい集落が点在し、地形や道路事情は2町と異なるものの、課題解決の手法や運営方法は大いに参考になる。

制度や財政上の課題、運行中の各種バスの現状と問題点を把握し、目指すべき方向性を示さなければならない。

議会です
みんなには

一息での射る

スポーツ吹矢



矢はほとんど中心に

真剣に的を狙う代
表の岡本紀年さん

礼に始まり礼に終わる競技



議会を傍聴しませんか

次の定例会は3月です。12月定例会の傍聴者は延べ2人でした。たくさんの傍聴をお待ちしています。

男性メンバー
が少ないとの
ことです

シーンと静まり返った部屋で、「フツ」と力強く吐く息と同時に「パツ」と矢が刺さり、ほとんどのが的中に命中。
毎週木曜日に町民会館で楽しんでいるスポーツ吹矢を取材しました。
現在のメンバーは7人で、健康管理を目的に平成20年から始めており、筋肉や呼吸器、内臓の活性化に効果があり、ストレス解消にもつながるようです。
グラスファイバー製の1メートル以上ある筒に20センチくらいの矢を入れ、6〜10メートル離れた的を射ます。
静寂の中、動作は決められた作法で息を整えながら筒を横に構え、口にくわえて、一杯に吸った息を一気に吐き出す。
恐ろしいほどの緊張と緊迫感が伝わります。
年1回、県の大会もあり、今年の新春吹き始めでは県内で60人くらいが参加したとのこと。
平成27年の国体では参考競技になるとのことで、それに向けて力(息)を蓄えているとのこと。

編集後記

広報委員になり2年が過ぎたが、取材や編集作業は毎回難しく、「5名」は「5人」に直したり、「出来る」は「できる」などと、分かりやすい紙面作成に頑張っている。

全国コンクール7年連続入賞で、中・四国、九州などから視察依頼が増え、昨年は6市町議会42人が見えられた。

今年1月には、香川県から一度に8町議会50人が見られることになり、わが議会だよりの編集に加え、大型スクリーンを使った視察対応の準備などで、慌ただしい新年となった。

多くの議会から研修に来てもらい、自分たちも一層の研究につながっている。

《市原》

編集・発行責任者

議長 岡林 幸政

議会広報常任委員会

委員長 岡林 学

副委員長 斎藤 政広

委員 武智 龍

委員 高橋 丈一

委員 市原 静子

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。